

2023 年度第 5 回 10 月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2023 年 10 月 18 日（水）
2. 開催の場所 栃木放送本社会議室
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。
3. 委員の出席 委員総数 9 名
返信総数 2 名
出席総数 7 名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	和久井要子
	委員	佐子達仁
	委員	若井明香
	委員	鈴木正人

4. 議 題
（1）午前ワイド ビタミンとちぎ内
「地球はひとつ J」について
放送日 4/26 5/24 8/23

（2）その他

5. 議事内容
（1）午前ワイド ビタミンとちぎ内
「地球はひとつ J」について
番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明：

2021年度4月放送開始。第2週は栃木県ゆかりの元JICA海外協力隊員をスタジオに招き体験談等を聞いています。第4週は、JICAの基金を活用して国際協力に取り組む人や団体の活躍を紹介しています。第4週については今春からリニューアルし、「海外協力隊以外のJICAの事業を知ってもらいたい」との意向を受け、栃木県を管轄するJICA筑波のスポンサードで放送しています。

※タイトルにある「J」はJICAの「J」。もとは「地球はひとつ」というタイトルで2020年度にスタート。東京五輪を控え「世界各国の伝統音楽や最新ヒットチャートを紹介する」という趣旨で放送（当時、JICAは無関係）。1年間放送した後、「実際に海外での活動経験がある人の話を聞こう」となり、以前から交流のあったJICA栃木デスクの協力を得て内容変更。試聴録音内容 いずれも2023年、第4週の放送

①4月26日 株式会社 関東農産（那須塩原市） 真鍋和裕 様

「中小企業・SDGsビジネス支援事業」タイで活動（育苗）

②5月24日 NPO法人あおぞら（宇都宮市） 萬谷恵美 様

「世界の人々のためのJICA基金活用事業」ラオスで活動（新生児蘇生法）

③8月23日 有限会社ドンカメ（芳賀町） 小久保行雄 様

「JICA 草の根技術協力事業」、東ティモールで活動（堆肥化資源循環）

番組出演にあたり

放送日の約1ヶ月前に、JICA栃木デスクまたはJICA筑波の窓口担当者から出演者名と取り組み内容を受け取り、それを基にアナウンサー小暮が質問項目を作成します。

そして出演者からの指摘や回答を受け修正を加え、放送当日を迎えます。

出演者にもよりますが、2～3度のやり取りを経て、放送に至ります。

各委員からは、

○JICA の活動をされている方が身近にいらっしゃることで、そして世界で活躍されていることを知ることができるいい番組だと思いました。できれば、小学生・中学生・高校生といった子供たちに聞かせたいと思いました。アナウンサーの質問も端的で、ゲストの方がたくさん話されていたので、活動内容もよく理解できました。そして、二人の会話のバランスがとてもいいと思いました。事前準備が丁寧にされているので、どの回もお二人のやり取りがスムーズだと感じました。

○アナウンサーの声が安定感があり落ち着いた感じで聴くことができた。今回聴いた番組 3本の中で、二本目が一番分かりやすく、自分の専門的な知識の部分がなかったので、すんなり聴くことができた。他の2本の番組は、聴いても頭の中に入ってこなかったもので、興味

がない方でも耳に残るような番組作りにしたほうが良いと感じた。

○最初聴いて理解できず3、4回聴き直しました。どうしてもラジオでやり取りが遠い世界でのイメージに聞こえてしまった。せつかく良い話をしているのでもう少しラジオなので分かりやすく説明をしてほしいと感じた。

○アナウンサーの進行を含め番組全体の流れがよかったと感じました。国際協力活動については、日本の技術を海外に発信でき、且つその国の役に立つ取り組みで関心ができる事と思います。こうした取り組みに栃木県内の企業も数多く参画していることに驚いた事と、各企業の事業を知る事ができ、自社の事業にもヒントになると感じました。

○JICA の説明となると、役所関係の方が関わる人が多いが、本企画では民間企業の立場から解説され国際協力につながる取り組みに踏み込んだユニーク且つ価値あるアプローチを感じた。ただやはりラジオなのでリスナーに分かりやすく作ることがこれからの課題だと思う。

○私は今回複数回確認のため聴き良い番組だとは思いましたが、ただラジオ放送なので1度聴いて内容が分からない番組は、ラジオ番組としてどうかと思いました。今後は1度聴いて内容が分かるような作りにしてはかがかかと思っています。

○番組を3本聴かせて頂いて 1本目はモヤモヤした。2本目、3本目はリズム感があり国際協力という形で分かりやすく、 またアナウンサーの方もハッキリされて良かった。1本目のモヤモヤ感は企業の紹介になってしまっていて JICA と繋がっていない印象が感じられた。

○番組の趣旨は良いと思った。ただ3、4回聴いても話の幅が広すぎて理解する前に違う話題にいつてしまうというのはどうかと思った。もう少し話の的を絞り、ラジオを聴いている人にわかりやすく話をするというのが大事なのではないかと思った。今回の素材の中で3本目の放送は聴きやすかったと思う。

○JICA の活動事業をよくわかってもらうのに良い番組だと思った。こうした、事業を県内企業、またボランティアの方の、開発途上国の新情報やエピソードなどを交えて、報告していただくとともに、JICA の PR はもとより県内の海外展開、また在県外国人の理解促進にも繋がっていきそうな番組であったと思う。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」（２０２３年１１月５日）
- ② 当社のホームページに掲載（２０２３年１１月６日）
- ③ 当社事務局に議事録備え置き（２０２３年１１月６日～）

以上